

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年5月31日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県敦賀市観音町12番1

氏名 株式会社 塩浜工業
代表取締役 塩浜 都広

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-25-6027

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 株式会社 塩浜工業

事業場の所在地 福井県敦賀市観音町12番1

計画期間 2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 D06 (総合工事業)

②事業の規模 2021年度完工高 519億円
(2022年度は数値未確定のため前年度数値)

③従業員数 370名 (2022年4月時点)

④産業廃棄物の一連
の処理の工程

- 中間処理業者への委託
 - 売却または中間処理業者への委託
 - 再生利用 (現場内または他現場) または中間処理業者への委託
- ※品目により異なる

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

建築・土木部門(業者選定)

↓

各工事事務所長ならびに現場担当者(日常における管理)

↓

総務部(委託契約締結・契約書作成ほか補助業務)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2022年度）実績】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	生木	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	コンクリートがら※有筋	コンクリートがら※無筋	アスコンがら	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	28.35 t	1.375 t	82.5 t	25.99 t	121.5 t	2.22 t	228.51 t	307.93 t	131.53 t	564.125 t	7.28 t	223.08 t
①現状	（これまでに実施した取組） 廃プラスチック類～アスコンがら：中間処理業者へ委託し、再生率の向上した。 混合廃棄物：選別の後、リサイクル業者へ再委託し再生率の向上を図った。											
【目標】												
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	生木	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	コンクリートがら※有筋	コンクリートがら※無筋	アスコンがら	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	25 t	1 t	75 t	22 t	110 t	1.8 t	200 t	290 t	120 t	500 t	6 t	200 t
②計画	（今後実施する予定の取組） 廃プラスチック類～アスコンがら：中間処理業者へ委託し、再生率の向上を目指す。 混合廃棄物：分別を徹底し混合廃棄物の減量に取り組むとともに、引き続きリサイクルを促進する。											

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
		t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t
		t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】 ※別紙②のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2022年度）実績】													
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	生木	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	コンクリートがら※有筋	コンクリートがら※無筋	アスコンがら	安定型混合	管理型混合	
①現状	全処理委託量	28.35 t	1.375 t	82.5 t	25.99 t	121.5 t	2.22 t	228.51 t	307.93 t	131.53 t	564.13 t	7.28 t	223.08 t
	優良認定処理業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)													
許可を得ている業者に収集から処分までほぼ一貫して委託している。													
【目標】													
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	生木	金属くず	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	コンクリートがら※有筋	コンクリートがら※無筋	アスコンがら	安定型混合	管理型混合	
②計画	全処理委託量	25 t	1 t	75 t	22 t	110 t	1.8 t	200 t	290 t	120 t	500 t	6 t	200 t
	優良認定処理業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)													
がれき類～建設汚泥：引き続き、許可を得ている業者に処分の委託を行っていく。													
混合廃棄物：分別による混合廃棄物の低減と、再利用・再資源化を促進していく。													

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。